



令和元年10月28日
国立研究開発法人土木研究所

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会（資料配付）
 2. 国土交通記者会（資料配布）
 3. 国土交通省建設専門紙記者会（資料配布）
 4. 中部地方整備局記者クラブ（資料配布）
 5. 中部専門記者会（資料配布）
 6. 長野県飯田合同庁舎内記者クラブ（資料配布）
- 日時：令和元年10月28日 14時同時配付

ダムにたまった土砂を低コストで対策できる

新技術が実用化目前に！

～落差 12m の吸引工法による水中土砂の現地排砂実験～

土木研究所では、ダムにおける堆積土砂の新たな対策技術としてダム湖とダム下流の水位差を活用する技術（潜行吸引式排砂管（排砂管））の研究開発を行っています。これまでの研究の結果、浚渫などの従来技術よりも低コストの装置で、2.4メートルの水位差でも4つの装置があれば約1万m³（小学校25メートルプール約20杯分）の水中にたまった土砂を2～3日で下流へ排砂できる能力をもつ技術となることを確認しました。

このたび、実際のダム湖への適用を想定し、落差12メートルの砂防堰堤を利用した、これまでで最大規模の現地実験を行いますので、報道機関の皆さまを対象に下記のとおり公開します。

今回の実験結果により本技術がダムにおける有用な堆砂対策技術となると考えられます。

記

1. 日 時：令和元年11月15日（金）13:00～14:30（予定）
悪天候が想定される等の場合は中止または1週間延期とする場合があります。
その場合は登録いただいたメールアドレスへご連絡いたします。
2. 場 所：長野県下伊那郡松川町 片桐ダム貯水池内および松川砂防堰堤（集合場所）
3. 実験概要：別紙のとおり
4. 対 象：報道機関
取材を希望される報道機関の方は、前日までにメールまたはファックスでお申し込みください。駐車スペースに限りがあるため各社車1台でご来場ください。
5. その他：豚コレラ拡散防止対策としてタイヤや靴等の消毒にご協力をお願いします。

問い合わせ先

国立研究開発法人土木研究所

水工研究グループ水理チーム上席研究員

主任研究員

研究員

石 神 孝 之

宮 川 仁

高 田 翔 也

TEL 029-879-6783

FAX 029-879-6737

e-mail damsuiry@pwri.go.jp

国立研究開発法人土木研究所 つくば中央研究所 水工研究グループ 公開実験担当者 宛

e-mail damsuiri@pwri.go.jp

FAX 029-879-6737

申し込み用紙

1. 御社名 : _____

2. 御所属 : _____

3. 代表者お名前 : _____

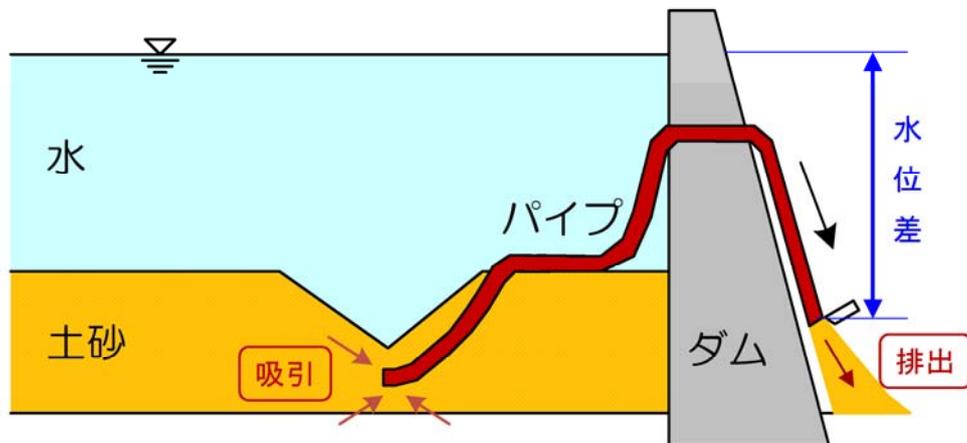
4. 合計人数 : _____ 名

5. ご連絡先 : 電話番号 : _____

e-mail : _____

1. 実験概要

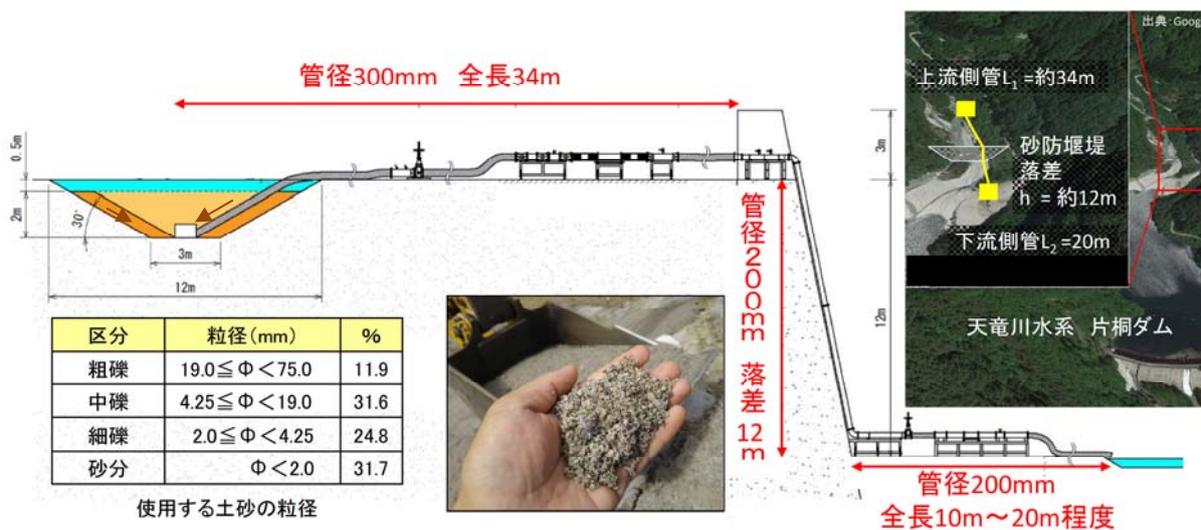
水位差のエネルギーを使って、土砂を吸引し下流に排出



吸引工法の原理



吸引部形状等が土木研究所の特許
(特許 5305439 号 特許第 5599069 号)



実験のイメージ (落差 12m、管距離約 70m 程度の最大規模の現地実験)

